報道関係各位

2026 年 9 月 30 日
イッツ・コミュニケーションズ株式会社
株式会社ケーブルテレビ品川
株式会社伊豆急ケーブルネットワーク

業界初！全国 100 社超のケーブルテレビ局で一斉放送
地方創生ドキュメンタリー映画「わたのまち、応答セヨ」
イッツコム、ケーブルテレビ品川、伊豆急ケーブルネットワークでも 10 月 12 日（月・祝）に放送
企画・プロデュースを手掛けた土屋敏男氏よりコメントが到着！

イッツ・コミュニケーションズ株式会社（東京都世田谷区　代表取締役社長：根本敬太　以下、イッツコム）、株式会社ケーブルテレビ品川（東京都品川区　代表取締役執行役員社長：橋本夏代）、株式会社伊豆急ケーブルネットワーク（静岡県熱海市　代表取締役社長：三井大峰）は東急グループのケーブルテレビ事業者として、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟（東京都中央区　理事長：今林顯一）による全国のケーブルテレビ局を対象とした共同プロジェクト、地方創生のドキュメンタリー映画「わたのまち、応答セヨ」の全国一斉放送に参画し、10 月 12 日（月・祝）に各社のコミュニティチャンネルで放送します。あわせて、同作の企画・プロデュースを手掛けた土屋敏男氏より、作品への思いや見どころについてコメントが届きましたのでご紹介します。

土屋敏男氏　コメント

「本気を見つけないと。本気こそが、人の心を打つんです」



――「電波少年」の〝T 部長〟こと土屋敏男さんが、自治体（愛知県蒲郡市）からの依頼で衰退した地方産業をテーマにしたドキュメンタリー映画を作るというのは意外でした。

僕は頼まれたら嫌とは言わないし、そこには何かがあるだろうと思ったんです。監督の岩間さんも僕と同じ日本テレビ出身で、一緒に仕事はしたことはなかったけど馬が合ったから声を掛けて一緒に蒲郡市に行きました。ただ、市には映画を作るにあたり 1 つだけ条件を出した。それは〝一切口出しをしないこと〟。実際、完成するまで一度も見せなかったしチェックも受けなかった。仮にそれをしていたら面白いものができなかったのではないでしょうか。これは「電波少年」のころからの僕のスタイルで、もし会社に「誰も知らない若手芸人（猿岩石／有吉弘行・森脇和成）に香港からロンドンまでヒッチハイクでいかせますけど、どうですかね」と相談してたら「なんじゃそりゃ？　危ないだろうからやめとけ」となってましたよね。この映画では、市との間にケーブルテレビ（三河湾ネットワーク株式会社／愛知県蒲郡市　代表取締役社長：堀井 敦）が入ってくれたのが成立の仕方として良かった。

――映画で、種から綿を育て三河木綿を織る地元の職人・鈴木さんに焦点を当てたのは？

最盛期には市内に約 1,000 あった繊維産業の会社が今では 10 社ほどになっている。ただ、生き残っている会社はどこも間違いなくいいものを作っていて、「皆さんの商品を海外で展示してみませんか？」と提案したら、「そんなことは考えていない。自分たちは現状で精いっぱいなんだ」と。また、勢い余っておっしゃったとは思うのですが「映画を撮るなど余計なことをしてくれるな」とも…。そんな中で岩間監督が毎週蒲郡市に通い、自転車で走り回っていろいろな人に話を聞く中で出会ったのが鈴木さんでした。鈴木さんは 80 歳を超えてなお「1200 年前にこの地に綿が伝来した。その綿にこだわっていくことが、自分たちの根っこなんだ」という哲学、〝本気〟を持つ人だったんですね。もちろん他の皆さんにも本気はあったとは思うのだけど、鈴木さんは目の前のビジネスではないものを見ているというか。僕もこれまでに無い新しいテレビを作るという気持ちで「電波少年」をやっていたけど、〝アポなし〟とか当時の常識とは違うから、プロたちには「こんなのテレビじゃない」と酷評された。でも、中高生は熱狂的に見てくれたし、何十年か経つとそれが次のテレビになった。今や街ブラ番組にしてもアポなしが当たり前じゃないですか。岩間監督も僕も、鈴木さんに自分と通じるものを感じたし、その本気をとらまえて一緒に世界に出てみようと考えたんです。

――この映画を機に、かつての三河木綿を現代風に甦らせる「三河木綿復刻プロジェクト」が立ち上がり、イギリスの「ロンドン・デザインフェスティバル」への出展につながりました。

映画を撮っていることが知られるにつれ、街がザワザワし始めていったんです。そんな中で、市の繊維業者の石川さんが蒲郡市博物館で江戸時代の三河木綿のデザイン帳を見つけ、そこからプロジェクトが生まれました。「自分たちのルーツ、それは世界中のどこにもない価値あるものなんだ」という本気の思いからです。そこへ思いを同じくする若手の岡田さんが加わり、プロジェクトがどんどん進んでいく。岡田さんは復刻プロジェクトの前に、「東京ガールズコレクション」に市として作品を発表する施策に関わっていたのですが、発表して〝めでたしめでたし〟で終わらせなかったんです。地域活性化って、本気になった若い人たちの目の色の話だから、本当はそこからなんですよ。野球、サッカー、映画、音楽、アニメなど多くの分野で日本が海外に打って出て勝負していますが、街の地場産業でも、自分たちの本気さえあれば世界で十分戦える。やはり死に物狂いで作る、ある種の狂気ともいえる本気を見つけないと。本気こそが人の心を打つんです。

――10 月にはイッツコムをはじめとした全国 100 社超のケーブルテレビ局で「わたのまち、応答セヨ」が一斉放送されます。

手探りで始まった映画撮影ですが、最後にロンドンで奇跡が待っていました。映画を機にそこに集まってくれた人々の本気が連なり〝円環〟がピタッと合う感じというか。途中でいろいろなことがありながらも綿の神様、映画の神様が撮らせてくれたのだと思いましたね。地方創生が叫ばれて久しいですが、この作品はそのヒントになるのではと思います。よく変化には「よそ者、馬鹿者、若者」が必要と言われます。よそ者が来て刺激を与え、地元の馬鹿者が呼応し、最終的に若者に火が着くという意味なのですが、どの地方も若者に火が着くまで、若者が本気になるまで至っていないのではないか。地方の多くの皆さん、特に若い人にこの映画を見てもらって「よし、自分たちも！」と思ってほしい。放送だけではなく、例えばそれぞれの地方で小さな上映会を開いて僕らを呼んでもらったら、地元の若者たちと話をしてみたい。僕たちが願う未来って、若者の未来のことですから。

映画「わたのまち、応答セヨ」



愛知県蒲郡市。戦後、繊維の街として織れば売れる究極の好景気で栄えた街。しかし今、時代が変わりその姿は無い。
この状況の中、「街の繊維産業に光を当てる映画を作ってほしい」と蒲郡市から映画製作を依頼された。
活気を失った街での映画製作は難航するが、”わた”を種から育て紡ぐ 80 歳の職人と出会う。そして映画作りが職人や繊維に関わる人たちを動かした。舞台は蒲郡からロンドンへ。
日本のモノ作りの本気が、海を越えて人々の心を掴み、「繊維の街」に奇跡をもたらす。（本編 99 分）
企画・プロデュース／土屋 敏男 監督・撮影・編集／岩間 玄 語り／岸井 ゆきの





©Gontents

「わたのまち、応答セヨ」は、2025 年に全国で劇場公開されたドキュメンタリー映画です。本作品は、地方都市が直面する地場産業の衰退や人口減少という全国共通の社会課題をテーマに、地元ケーブルテレビと自治体が連携して製作された事例として高い社会的意義を有しています。
一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟の呼びかけにより、9 月 30 日時点で一斉放送に参加するケーブルテレビ局は、110 社（うち 10 月 12 日同時放送は 97 社）・視聴可能世帯 2200 万に達しています。このような地域産業の再生や地方創生をテーマとした地域発のドキュメンタリーを全国規模で共有する一斉・同時放送の取り組みは、ケーブルテレビ業界初の試みです。

【放送概要】

番組名：映画『わたのまち、応答セヨ』
放送日時：2026 年 10 月 12 日（月・祝）20:00～ ※伊豆急ケーブルネットワークは 21:00～
放送チャンネル：
[イッツコム] イッツコムチャンネル 10（地デジ 10ch）
[ケーブルテレビ品川] シナガワン TV10 チャンネル 10 しながわ（地デジ 10ch）
[伊豆急ケーブルネットワーク] いるかチャンネル（地デジ 12ch）

◆イッツ・コミュニケーションズ株式会社

代表者：　代表取締役社長　根本敬太
所在地：　東京都世田谷区用賀 4-10-1　世田谷ビジネススクエアタワー22 階
株　主：　東急株式会社
会社設立：　1983 年 3 月 2 日　/　開局：　1987 年 10 月 2 日
資本金：　52 億 9 千 4 百万円
サービスエリア：　東京都・渋谷区、目黒区、世田谷区、大田区、町田市/川崎市・高津区、中原区、宮前区/横浜市・青葉区、緑区、港北区、都筑区
事業内容：　電気通信事業法による電気通信事業
放送法による一般放送事業（有線テレビジョン放送事業）　ほか
サービスサイト　：　https://www.itscom.co.jp
コーポレートサイト　：　https://www.itscom.co.jp/corporate/

◆株式会社ケーブルテレビ品川

代表者：　代表取締役 執行役員社長　橋本夏代
所在地：　東京都品川区戸越 1-7-20　戸越台ビル
株　主：　東急株式会社、品川区　ほか
会社設立：　1985 年 3 月 19 日　/　開局：1996 年 4 月 1 日
資本金：　25 億円
放送エリア：　東京都・品川区
事業内容：　電気通信事業法による電気通信事業
放送法による一般放送事業（有線テレビジョン放送事業）　ほか
サービスサイト：　http://www.cts.ne.jp
コーポレートサイト　：　https://www.cts.ne.jp/corporate

◆株式会社伊豆急ケーブルネットワーク

代表者：　代表取締役社長　三井大峰
所在地：　静岡県熱海市上宿町 9-5
株　主：　イッツ・コミュニケーションズ株式会社、伊豆急ホールディングス株式会社　ほか
会社設立：　1985 年 5 月 10 日　/　開局：1988 年 4 月 1 日
資本金：　1 億円
放送エリア：　神奈川県・湯河原町　/　静岡県・熱海市、伊東市、東伊豆町
事業内容：　電気通信事業法による電気通信事業
放送法による一般放送事業（有線テレビジョン放送事業）　ほか
サービスサイト：　https://www.ikctv.com
コーポレートサイト　：　https://www.ikctv.com/kaisha

本件に関する報道機関からのお問い合せ
イッツ・コミュニケーションズ株式会社　広報　上岡
TEL: 044-577-7501　携帯：070-6948-8389　koho@itscom.jp